

5. 伝承活動の有効性の確認

継続的な伝承活動には実践した伝承手法の有効性を検証し、訴求対象や手法を見直し、個々の地域にあった伝承手法へと次年度以降改善していくことが望ましい。そのための有効性検証方法の一例として今回の伝承活動の際に行ったアンケート調査を基本とする手法を以下に示す。

5-1 有効性検証のねらい

伝承手法の有効性検証の目的は、以下の5項目に分類することができる。

- ①災害教訓を伝承するという目的を達成したかどうかを確認する
- ②個々の伝承手法の強みと弱みを確認する
- ③個々の伝承手法の望ましい訴求対象を見極める
- ④個々の伝承手法の実施内容の妥当性を確認する
- ⑤将来的な伝承活動の継続に向けた課題を確認する

今回の検討会における有効性検証では、①と②の目的を達成することに重点を置いて内容を検討した。③、④については個々の伝承手法の問題点を把握し、改善点を抽出するために扱った。また、伝承手法実施が1度きりのイベントとならないように継続して行われるための課題、さらに定期的に繰り返し行われる可能性を確認することも重要な視点として扱った。

5-2 有効性検証にあたっての基本方針

今回の伝承手法の有効性検証方法のポイントを以下に示す。

○主に参加者アンケートによる手法を実施

有効性検証の方法としては、被験者へのアンケートやヒアリング等により把握することが考えられるが、被験者に対してより負担が少なく、効率的な意見収集が可能なアンケート方式を基本に有効性の検証を行った。なおアンケートの実施が難しい場合には、参加者へのヒアリング、感想文の記入、主催者・運営スタッフによる振り返りも含めて有効性の検証を行った。

○アンケートは極力簡易なものとなるよう設計

上述したようなイベントの特徴を踏まえ、アンケートの回収率や協力者の負担を考慮し、アンケートは極力簡易（選択式回答を多く）で、分量の少ないもの（A3判1枚程度）として設計した。

○アンケートは継続的に実施し、経年で傾向を図る

有効性の検証については伝承実施前後での意識の変化、さらに伝承実施からしばらく時間が経過した後の意識についても把握し、知識の定着が行われているか把握する必要がある。アンケートは可能な限り継続的に実施し、経年で傾向を図るようにする。

(1) アンケートの設計

アンケートの設計は以下の点に配慮して行う。

○アンケート実施のタイミング

- ・実施するタイミングとして 1)事前、2)事後の2回行うことを基本*とし、伝承実施による知識や行動の変化を計測する。
- ・見学会やパネル展のように1回きりのイベントで実施前後でのアンケート調査が難しい場合には、実施後にイベント自体の理解度と防災意識を確認する内容とする。

※アンケートは可能な限り継続的に実施し、イベント実施後しばらく時間が経過したのちにアンケートを実施することで、参加者への災害教訓の浸透度合いを計測することが可能となる。

○アンケートの構成

- ・被験者の災害に対するスタンスを把握するため、災害に関する知識や有事の対応に向けた備えについて調査する。
- ・イベント全体の実施内容に対する理解度の状況を調査する。
- ・将来的な伝承活動の継続に向け、興味のある伝承内容（素材）やあまり知らない伝承内容（素材）について確認する。
- ・伝承体験をきっかけにして今後他の人へ災害教訓を伝承していく可能性について調査する。
- ・伝承手法の望ましい訴求対象について検討するために、アンケート回答者の年齢、性別等の属性についても質問を行う。

○調査票

- ・アンケート対象者が回答しやすいよう、選択形式の設問を基本とする。
- ・イベント内容に対する理解度等については、アンケート後には各手法について細かい分析が出来るよう、5段階評価（選択式）により意識を把握する。

(2) アンケートの概要

アンケートの内容は基本的に以下の項目に合わせて作成し、訴求対象の違いによって設問の内容や文章表現を工夫した。アンケート調査表の一例として、訴求対象別に2種類、また小学生へのアンケートは実施前・後で使用した調査票を以下に示す。

表 14 アンケート概要

| 項目 | 内容 |
|------------------|--|
| 災害に関する知識や対応 | 今までに災害を経験したことがあるか この地域で起きた過去の災害を知っているか (分かったか) 防災訓練に参加しているか 家族で災害に関する話をしているか (するようになったか) 災害に対する準備をしているか (するようになったか) 避難場所を知っているか (分かったか) 災害時に十分な対応ができるか (できるようになったか) 災害時にどのような避難行動をとるか (今後とるか) |
| イベント内容の理解度 | イベントの内容を理解できたか イベントに対する感想、良い点・悪い点 個々の伝承内容 (素材) を理解できたか |
| 伝承内容 (素材) への興味関心 | 興味ある伝承内容 (素材) は何か あまり知らない伝承内容 (素材) は何か |
| 災害教訓伝承への関与 | 今後災害教訓を伝承する立場として携わりたいか |

ぼうさいいしき 防災意識事前アンケート調査

今からみなさんの**ぼうさいいしき**防災意識についてアンケートをするので、下の質問に答えてね。

※提供していただいた個人情報**こじんじょうほう**はアンケート調査以外の目的では使用いたしません。



I. みなさんの**さいがい**災害に対する**いしき**意識や**たいおう**対応についてお聞きします。

問1 今までに災害を経験したことがありますか？

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ある 2. ない

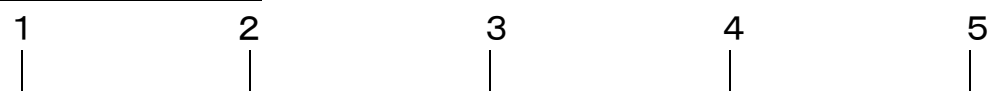
問2 地域で過去におこった災害を知っていますか？

それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

- ①三六災害 1. 知っている 2. 知らない
②五八災害 1. 知っている 2. 知らない
③平成18年7月災害 1. 知っている 2. 知らない
④その他知っている災害を書いてください ()

問3 家族の中で災害に関する話をしたことがありますか？

あてはまるもの1つに○をつけてください。

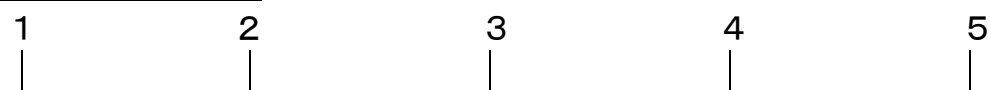


よくしている している 少ししている あまりしていない していない

問4 家族で災害に対する**じゅんび**準備（非常食や非常持ち出し袋の用意）を

していますか？

あてはまるもの1つに○をつけてください。



十分している している 少ししている あまりしていない していない

問5 災害が起きたときに避難する場所を知っていますか？

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

問6 災害が起きた時にどのような行動をとりますか？

あてはまるものに1つに○をつけてください。

1. 自分で避難所に避難する 2. 避難するように言われたら避難する
3. 分からない 4. 避難したくない 5. その他 ()

II. みなさんの**きょうみ**興味があることをお聞きします。

問6 次の項目のうち、興味があるもの・もっと知りたいと思うことは何ですか？

次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 地域で起きた過去の災害 2. 水防技術などの知恵
3. 災害を体験された方のお話 4. 天変地異や災害を由来とする信仰や祭り
5. 災害に関する歌や劇 6. 災害に関する伝説や昔話
7. 気象情報（雨の降る量や川の水位、前兆現象など）
8. その他 ()

問7 「防災と社会」の授業でこんなことを教えてほしいなということを自由に書いてください。

III. 最後にあなたご自身のことについてお答えください。

| | | |
|-------------------------------------|------------|-------------------|
| お名前 () | 性別 (男性・女性) | 学年 (5年 秋組) |
| お住まい (伊那市 地区) | | |

ありがとうございました！！

